

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	県立聴覚障害者センター
指定管理者	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

(単位:人)

指 標	R4	R3	R2	増減理由等
研修室	1,269	818	651	施設利用制限等を行いながら施設利用を継続したことによる利用者数の増
試写室	640	395	552	
交流ホール	2,294	778	1,061	
談話コーナー	129	108	139	
合 計	4,332	2,099	2,403	
コメント	施設利用制限や新型コロナウイルス感染防止策(消毒等)を行いつつ、施設利用を完全に停止しなかったことで利用者数の増が図られている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R4	R3	R2	支 出	R4	R3	R2
指定管理料	26,391	26,391	25,933	人件費	23,548	23,438	23,500
受取利息収入	0	0		備品・消耗品費	99	684	291
				水道光熱費	1,511	1,000	911
				研修研究費	133	72	0
				修繕費	50	139	315
				保険料	10	12	10
				その他	1,040	1,046	906
合 計(①)	26,391	26,391	25,933	合 計(②)	26,391	26,391	25,933
収支差額(①-②)	0	0	0				
コメント	水道光熱費の増額は、世界的な燃料費高騰に伴い、電気及びガス料金の値上がりにより影響を受けたもの。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持管理業務	清 掃	日常清掃、定期清掃(月末)、特別清掃(年末)、床洗浄塗布(外部委託による 年2回)
	保守・点検	県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに、①建物・備品等、②消防設備、③電気設備、④整理整頓・衛生維持の点検を毎月末に行った。
	警 備	3階消費生活センターによる夜間・休日の常駐警備
	修 繕	備品・設備点検を随時実施、複合機移設に伴う配線工事の実施
	備品等管理	備品台帳に基づく点検(年1回) 管理台帳整備
	安全対策	・センター利用者に対する賠償責任保険の加入 ・安全点検管理表による点検(月末)、危機管理規程の整備、電光掲示板を利用した避難訓練
	その他	こまめな消灯・節電・節水等の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	①みやざき聴障センターだよりの発行 ②センターHPに研修会等の案内を随時掲載 ③満足度調査(令和4年8月15日～9月30日) ④リモート回線(Zoom)を利用したオンデマンド研修・講習会、リモート試験の実施
	イベント等ソフト面充実	・リモート(Zoom)を利用した研修会の実施など、コロナ禍におけるイベント等開催を工夫した。 ・第19回手話フェスティバル開催(9月23日)、難聴者との手話学習交流会(11月～3月)
	施設設備等ハード面充実	特に無し
	その他	・新型コロナ感染拡大防止において、研修室と試写室の定員数を一時期制限するなどの対策を講じた。 ・都城さくら聴覚支援学校実習受け入れ(12月5日～6日)
管理運営体制	新型コロナ感染拡大防止策として、パーティション設置や検温、ドア・机等の消毒を実施	
コメント	基本協定書の内容に基づき、適切な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	令和4年利用者満足度アンケート(令和4年8月15日～9月30日:回答数 58名)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
感染防止対策のためにZoomを活用したオンライン学習や研修会を実施しているが、Zoomだけにならないようにしてほしい。	基本的は対面実施を軸とするが、Zoomでの対応が難しい受講者や利用者に対しては、別の利用方法も検討する。
駐車場が少ない。	大人数の企画の際は、大宮高校や東高校駐車場を確保できるように調整し、他行事利用者との重なりが出ないように配慮。

5 総合評価

評価コメント	基本協定書に沿って適正な業務が行われている。
今後の課題と対応	利用者のニーズを的確に把握するとともに、聴覚障害者センターのサービス内容を幅広く周知し利用者の増加に繋げることが必要になる。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたが、センター内における感染拡大防止のための対応については、引き続き適切に実施していく必要がある。